

員、玉井会員、渡邊会員、山口会員、山木会員、山崎会員、屋敷会員、結城会員。

<出席委員会>

小塚委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2017回	46	36	10		78.26%
第2016回	46	41	5	1	90.30%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	33件	33,000円	623件	672,000円
財団	0件	0円	8件	136,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	105,000円
米山	0件	0円	19件	290,000円

本日のプログラム

<招聘卓話>

ご紹介者 佐々岡会員

日興証券では今年3月より、社会貢献SDGsへの取り組みとして、プロゴノワークを国内金融機関として初めて導入いたしました。プロゴノワークとは、社員が業務時間の一部をNPO法人等の支援に費やし、社会貢献活動を行う事です。弊社は二つのNPO法人を総勢32名の社員でサポートしています。皆様におかれましては、インターン受け入れや職場見学など、ご協力いただくと幸いです。



NPO法人 フェアスタートサポート 永岡鉄平様



本日は『児童施設の子どもたちの可能性を拡げるために企業が出来ること』をテーマにお話します。

孤児院から始まった児童養護施設は、親を頼ることが出来ず、18才程度の年齢で自立し生活することになり、残念ながら放っておくと、貴重な20代が数年ほどでワーキングプアになってしまい、非常にもったいないと思ったのが、NPO法人を立ち上げた

きっかけです。

民間で独立採算制の団体は日本にはほぼなく、大体が公的資金がサポートしてる中で実施しています。我々の団体は、助成金や皆様からの寄付でなんとか10年やってきました。

■事業内容

1. キャリア教育支援

児童養護施設で生活している中学高校生へ「就職相談」「職業適性検査の実施」「会社見学や就労体験のコーディネート」の提供→雑な進路決定による早期離職を未然に防ぐ

2. 就職のあっせんとアフターフォロー

理解ある企業の求人を開拓、就職をコーディネート、つないだ若者については、気軽に集まって交流できる場の提供 →社会人としてやっていける支援

■児童養護施設の最新の状況

- ・要保護児童は日本に45,000人、その半数以上が児童養護施設に入る。養護施設以外は里親制度もあるが、まだ少ない。
- ・施設は全国に約600、1位東京都、2位が大阪。
- ・入所理由は、虐待が8割から9割(戦後は孤児・遺児)で、親とは一緒に生活をしない方がいいと、行政が判断した子どもたちが入所。虐待は年間20万件的の報告があり、社会現象となっている。
- ・18才が入所期間の実質上限年齢になり、就職・進学は自由だが、基本自立しなければならない(虐待が背景にあるため、金銭的に精神的にも親に頼ることがない。孤独感を持ちながら自立しなければならない背景がある)。
- ・進学30%、就職70%。しかし中退率、離職率が高く、早期にドロップアウトしやすい傾向。
→理由として、学費は奨学金等で何とかするが、毎月の生活費を稼がないと生活が維持できない。就職も、住み込み就職などになりがちで、明確なやりたい仕事でないため、離職するとワーキングプアになってしまう。児童養護施設の若者は、然るべき機会が提供されず、知らず知らずのうちに不利益を被っている状態。

■企業協力の必要

- ・仕事を体験して自分の将来について考える機会が必要→企業とのつながりを求め、コーディネート。これを機にご協力いただければと思います。

永岡様からは、実際に就労支援コーディネーターした若者の例を交えながらの卓話と、また青山様からもご挨拶いただきました。

<点鐘>

赤本会長